

# Town Topics

~まちのわだい~



▶本庁ロビーに設置された災害対応型自動販売機



1月19日、八代市と南九州コカ・コーラボトリング(株)が災害発生時の救援物資提供に関する協定を結び、県内では初となる災害対応型自動販売機が、市役所本庁や各支所・公共施設などに設置されました。

この自動販売機は、通常は一般の販売機として稼動し、地震や台風の大規模災害発生時などに、販売機内の飲料物が無料で提供される仕組みで、緊急災害情報やニュースなどの情報を表示できる電光掲示板も備わっています。

この日、調印式を終えた、南九州コカ・コーラボトリング(株)の本坊幸吉社長は「日ごろの感謝を地域貢献に繋げなければならない。今後も設置数を増やしていきたい」と述べました。

▶協定書に調印後、握手する本坊社長(左)と坂田市長



## 災害時の強い見方

自動販売機で飲料水を無料提供

## 今年1年、いい年に どんどや



▲残り火で餅を焼く園児たち

各地で行われているどんどやが、千丁幼稚園でも行われ、園児や保護者などが参加し、賑やかなひとときを過ごしました。どんどやは、小正月に行われる五穀豊穡を祈る伝統行事です。

空高く組まれた竹が勢いよく燃え上がり、パチンとはじける竹の破裂音に、園児たちは歓声をあげて喜んでいました。また、どんどやの残り火で餅を焼いて食べると、1年間無病息災で過ごせるとも言われていることから、残り火で焼いたお餅を、みんなでおいしそうに食べていました。

## 新春の走りはじめ 新春健康マラソン大会



▲泉支所から一斉にスタート

1月1日、今年で22回目となる新春健康マラソン大会が泉町であり、子供から高齢者まで76人が参加しました。

大会は、泉支所を発着とする3kmと6kmの宣言タイムレース式で実施。冷たい風が吹くなか、参加者たちは、スタートの合図と同時に一斉に宣言タイムを目指して走りました。今大会の最高賞は、宣言タイムと2秒差だった松本年生さん(泉町柿迫)でした。

またゴールでは、温かいシシ汁が振る舞われ、参加者たちは疲れた体を癒していました。

## 1年の安全を祈って

八代市消防出初式



▲坂田市長から点検を受けるやすらぎ保育園児たち

1月15日、球磨川緑地公園で、消防本部をはじめ市内消防団(75分団)から2,145人が参加し、合併後初となる八代市消防出初式が行われました。

式典終了後、やすらぎ保育園とわらび保育園の幼年消防クラブによる通常点検やソーラン踊りが披露され、会場からは盛大な拍手が贈られました。



(上段) 成人式を主催した実行委員会のみなさん  
(上) 式典の祝辞に聞き入る新成人たち  
(右) 新成人を乗せた人力車がアーケードを疾走

1月8日、厚生会館で、合併後初めてとなる八代市成人式が行われ、1,478人が新成人となりました。

式典では、坂田市長が「新成人として責任のある行動をとって欲しい。そして、若いパワーを新市のために社会のために発揮し、目標に向かって進んで欲しい」とあいさつ。新成人を代表して、式の主催者である成人式実行委員会の小林大祐会長が「新市誕生と時を同じに成人したことを誇りに思う。自分たちが笑顔で暮らし次世代へ繋いでいけるよう、成人者として自覚し、その責任を担っていききたい」と決意を述べました。

式典後、会場前には、振袖や真新しいスーツ姿の新成人者が集まり、久しぶりに会う友人と話が弾んだり、記念写真を撮ったりと華やいだ雰囲気でした。

当日は、本町アーケードで記念イベントがあり、人力車での記念撮影やその場で撮った写真をラベルにしたワインがプレゼントされました。また、特設ステージでのバンド演奏や抽選会などには、多くの新成人が詰めかけ、思い出づくりに一役買っていました。

## 成人としての責任を担っていききたい 八代市成人式

## もぐらうち、って楽しいな もぐらうち体験



◀ みんなで一緒に「つと」作り

1月16日、千丁みどり保育園で、園児や保護者たちが集まり、もぐらうちで使う「つと」作りが行われました。もぐらうちは、農作物に被害を与えるもぐらを追い出す伝統行事で、五穀豊穡の願いも込められています。

もぐらうちについての話のあと、イ草やワラを縛って作る「つと」作りを開始。慣れた手つきで作りあげるおじいちゃんや、初めての作業に手こずる保護者たちと一緒に園児たちもお手伝い。「つと」が完成すると、園児たちは園庭の地面をパンパンと叩き、もぐらうちを楽しんでいました。

## 千丁校区が初代王座に 第1回八代市校区対抗駅伝競走



1月22日、新市誕生を記念した第1回八代市校区対抗駅伝競走が行われ、県営八代運動公園を発着とする10区間30.7kmのコースで、19校区18チームが健脚を競いました。

その結果、終始安定した走りをした千丁校区が1時間38分35秒で初代の栄冠を獲得しました。

## 寒さに負けず走り抜く 体力づくり町内一周駅伝大会



▲タスキを繋ぐ駅伝スタート

1月8日、東陽町の新春を飾る、体力づくり町内一周駅伝大会があり、8チーム112人の選手が14区間21.7kmで熱戦を繰り広げました。

選手たちは、坂より上地区から合図と共に一斉に勢いよく走り出し、次々とタスキをつないでいました。沿線

で応援する人たちも、寒さを忘れて大きな声で選手を激励していました。今年は南地区が総合優勝し、栄冠を勝ち取りました。